

第14回 新・災害対策委員会 開催

10月10日(金) 第14回新・災害対策委員会を開催し、今年度の活動進捗状況と「大規模炊き出し」や各種内容について報告・議論を行いました。



▲阿南会長



▲会場の様子



▲川本事務局長



▲はままつ na net 様

25年度活動進捗報告

【活動進捗報告】

- ・NPO等との意見交換会を開催
- ・生団連・NPO等の連携強化
 - ①「北の国災害サポートチーム」様との連携
 - ②「はままつ na net」様との関係構築
- ・「ぼうさいこくたい2025in新潟」出展
- ・能登半島地震被災地視察

【食事支援実現の模索 意見交換】

- ・給食施設利用による支援の調査検討の結果、給食施設に拘らず、大規模炊き出しで検討（検討キーワード：大規模・スマートスタート・応用可能）
→各メーカー様からの支援を募集中

【その他 意見交換】

- ・NPO等との連携
- ・物資支援活動について

【出席者からのご意見】(一部抜粋)

- ・大規模炊き出しについて、まずはスマートスタートで横展開していけたらよい。メニューバリエーションなど被災地が飽きない工夫もしたい。
- ・大規模炊き出しについて、水が使えないなどインフラ状況に応じたマニュアル整備が必要。
- ・企業が災害時にどの団体へ支援を申し出ればよいかわからない。「顔の見える関係づくり」の重要性を感じる。
- ・災害時のトイレ問題は後回しにされるが課題が大きい。今後情報共有・協力を希望するという声があった。
- ・能登地震の実例より、継続的な支援の重要性を強く実感。より一層関係者との連携が必要である。

【事務局所感】

活発にご議論いただきありがとうございました。

日本ではおよそ1年半ごとに激甚災害が発生している現状を踏まえ、また能登の現地視察を通じて皆様のご苦労や復興への思いを直接拝見し、取り組みへの決意を新たにいたしました。

「大規模炊き出し」の実現に向け、会員企業・団体の皆様にご参加いただき、一緒に作りあげて参ります。引き続き、ご協力のお申し出も心よりお待ちしております。